

## 第4回 緑化フェア幹事会 議事録

### 詳細摘録

令和5（2023）年8月7日

#### ■次第と記録記載ページ

- 1 開 会
- 2 全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画（案）について【資料1、2】
- 3 市制100周年記念事業について【参考資料1】
- 4 その他
- 5 閉 会

#### ■日時と場所

日時：令和5年8月7日（月）10:30～12:00

場所：ホテル精養軒新本館2階飛翔

■出席者

幹事（出席9名、1名欠席＜今井幹事＞）			
	分野	氏名（敬称略）	所属
1	学識	福岡 孝則	東京農業大学地域環境科学部 造園科学科 准教授
2	協働推進	栗原 国男	公益財団法人川崎市公園緑地協会嘱託 東京農業大学地域環境科学部地域創成学科 非常勤講師
3	出展展示	深町 貴子	園芸家：多摩区在住
4	交通対策	米川 僚一	一般社団法人 川崎市交通安全協会 専務理事
5	会場運営	渡辺 広之	京都芸術大学芸術教養センター 客員教授
6	行催事	反町 充宏	一般社団法人 川崎市商店街連合会 理事・青年部長
7	広報・PR	大西 絵満	かわさき市民放送株式会社 代表取締役
8	植物調達	矢澤 和洋	セラサ川崎農業協同組合 営農経済本部 組織部 組織支援課 課長代理
9	植物管理	今井 伸之	川崎市造園建設業協同組合 副理事長
10	飲食・物販	萩原 ひとみ	一般社団法人 川崎市観光協会 理事

事務局（小池局長、木村次長、小酒井担当部長、石井課長、石垣課長、藤井課長 他）

■配布資料

資料	1	論点メモ
資料	2	全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画（案）
参考資料	1	第5回市制100周年幹事会資料

## ■会議録

### 1. 開会（次第1）

#### 事務局（木村次長）

それでは定刻より少し早いですが、幹事の皆様お集まりということでございますので、ただいまから「第4回緑化フェア幹事会」を開催させていただきます。本日はお忙しい中、当幹事会にご参加いただきまして、本当にありがとうございます。本日は萩原幹事様のご厚意をいただきまして、こちらの会場をご用意させていただきました。ありがとうございます。

それでは議事に先立ちまして、本日の幹事会は公開とさせて頂いております。本日の会議録につきまして個々の発言者氏名を記載することを予めご了解いただきたいと思います。

本日傍聴者の方はいらっしゃいません。

なお、事務局といたしまして、緑化フェア推進室、シティプロモーション推進室の市制100周年記念事業推進担当とその他建設緑政局緑政部職員等の本市職員が出席しておりますとともに、議事録作成等の為に委託事業者の方も同席しておりますことをご紹介します。また本日、今井幹事の方から、どうしても都合がつかないということでご欠席のご連絡頂戴しております。

それでは、会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。本日の次第に続きまして、資料1「論点メモ」、資料2「全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画原案」、参考資料1「第5回市制100周年幹事会資料」、をお付けしております。お手元の方に資料はありますか。もし不備等ございましたら、会議の途中でも結構でございますので、事務局までお申し出いただければと存じます。

それではこれからの進行につきましては、福岡幹事長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

## 2. 全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画策（案）（次第2、資料1, 2）について

### 福岡幹事長

皆様、おはようございます。それでは、ここから私が進行を務めさせていただきます。

続きまして、次第2「全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画（案）」について事務局より説明をお願いします。

### 事務局（石垣課長）

おはようございます。緑化フェア推進室の石垣でございます。よろしくお願い致します。

「資料1」は、この幹事会でご議論いただきたい内容を概要として毎回つけさせていただいております。これより、「資料2」を簡単にご説明させていただきたいと思っております。

目次ですが、これまで第1章を「みどりのまちづくりに向けた」ということで、章立てをしていましたが、「基本的事項」ということで基本的な内容をすべて括らせていただきました。

「第2章～第11章」までが個別分野別の計画とさせていただいております。「第1章～第11章」までを合わせて、本基本実施計画として策定をしていきたいと思っており、内容としては、原案からそれほど変わっておりません。

「資料2の11項（以降、項のみ示す）」では、どのように展開をしていくかという話の中で、緑化フェアを通し、5つのレガシーを残していきたいと考えています。「ライフスタイルの変化」、「まちの設え」、「出会いと交流」、「人の記憶」、「活動の継続」を緑化フェア以降にも残していきたいと考えています。「12項」からは、このような街になったらよいということ示すイメージを載せております。

こちら富士見通り（13項）は、皆さんでやっていく花壇や、近くの二ヶ領用水（14項）の賑わい創出、花壇協働管理などを、富士見公園（15項）の会場のメイン花壇の設えをイメージとして示しており、「16項」では、新しくできる芝生広場、園内施設の様子です。

「17項」は、富士見公園を中心に、夜の利用の演出についても、イメージとして示しています。「18項」は、緑化フェアを通してオフィスや商業施設、自宅に緑化を取り入れています。

「19項」は、開催概要で、想定来場者数や概算事業費について、基本計画策定を持って決めさせていただくとお示させていただきましたが、今回想定来場者数160万人の概算事業費を概ね19億円ということ示して頂いております。160万人の推定来場者数につきましては、昨年度、計画策定の基礎を委託しており、146万人と計画の基礎が算定されておりました。そこに、これまで154万人の市民に関わっていただきたいということでご説明させていただきましたので他都市の人口、開催期間、事業費などを参考に、160万人と書かせてい

ただいております。ちなみに、今年度行われました仙台につきましては 100 万人という想定来場者数ございました。

「22 項」からは、個別分野別の計画ということになっております。

市民総参加で進めることでまず、「協働推進」を最初に載せております。基本的な考え方としては、これまでの取り組みを大事にするということと、開催以降も継続できる取り組み、それから市民 154 万人に何らかの形で関わって頂きたいところを記載しております。

アプローチ (23 項) や、ターゲットの設定を決めながらやっていきたいところと、関わっている人だけではなく、C 層 (関心が低い人) と言っている、これまで関心があまりなかった人たちもターゲットとしてやっていきたいことを示しています。

「協働推進」の実施例 (25 項) ということで、今年度は、プレ栽培を市内の保育園と小中学校で行っており、延べ 700 人にご参加をいただいています。

「種団子づくりの講習会」を各学校で行い、秋に咲くところです。今、夏休み期間で水やりなど、いろいろ課題もある中で、取り組んでおります。「26 項」がその取り組んでいる様子になります。

参加に向けては (28 項)、いろいろな参加の仕方、いろいろな方の参加を想定しておりますが、やはりこれまで参加できなかった方には障壁となるものがあつたと思っております。その障壁をどうやって少なくしていくかということが一つポイントだと思っております。そういったものを設定して作って参ります。

ボランティア (29 項) につきましては、募集をしますとの言い方でしかありませんでしたが、一番の下にありますように「植物の育成管理」につきましては、今年度の 10 月から募集をしていきたいと考えています。

その他、会場運営などいろいろなボランティアにつきましては来年 4 月以降に募集していきたいと思えます。他都市の事例でも開催のたいたい 3 か月前から半年ぐらい前の間に、募集しているところでしたので、こちらにつきましては 4 月以降にしていきたいと思っております。

観客誘致広報 (30 項) につきまして、ターゲットについてはこれまでご説明していた通りです。こちらも市外と、関心の低い市民、関心の高い市民と、いろいろなターゲットがありますので、ターゲット別に働きかけていく考えです。

集中広報期間 (32 項) といたしまして (資料の右上)、100 周年事業の一環として、緑化フェアの開催としております。やはり 100 周年ということを先ず知らせるところですが、10 月の開催の概ね 1~3 か月ぐらい前にガラッと街中の雰囲気緑化フェア仕様に変わっていくことで、場面転換を考えております。

続きましていろいろな展開をしていきます。これまで書かせていただいた内容でございます（33 項、34 項）。

「35 項」以降からは、これまであまりお示していなかった「協賛の考え方」でございます。こちらでも市制 100 周年記念事業として行いますので、基本的には一体として集めてまいります。体系としましては、事業全般用途を指定しない「一般協賛」という形と、個別の様々な募集の内容を「個別募集」として行ってまいります。例えば、花壇等の参加につきましては、「個別募集」で募集をしていきたいと思っております。「一般協賛」につきましては、基本的には用途を指定しないという形で事業費に充当させていただくという協賛の仕方を 100 周年と一体として集めさせていただきます。その他、緑化フェアとしましては物品をそのまま提供させていただくとか、広告協賛、市民の個人協賛という形で募集する仕組みを一体的に取り組んでまいります。

「38 項」以降からは、「会場計画」になります。これまでお示していた通りですが、会場区分がこれまで「コア会場」、「エリア」、「協賛連携会場」としてお示していたところを、協賛連携会場という言い方ではなく、「(仮称) まちなかみどりスポット」として展開をしていきたいと思っております。内容につきましては基本的にこれまでと同様でございます。

「富士見公園・エリア (41 項以降)」では、基本的には一緒に、これまで会場のイメージができるように解像度を上げていくことで、展開しております。各取り組みにつきましては、「開催前」、「秋開催」、「春開催」、「開催後」、をどのように、どういうふうになっているのかイメージできるように記載しております。

例えば、市役所通りの公共空間の利活用、これは仙台の絵が載っていますが、歩道部分を開催前は 100 周年事業として車道空間の活用を実験的に行ったり、秋開催期間は(市役所の前をなかなか想像ができない方もいらっしゃると思いますが) 歩道と自転車通行帯でイベントをやってみたり、それから春には事業者を募集したり、緑化フェア後はレガシーとしてウォークアブルなまちづくりを沿道の事業者等と一緒に展開していくと、そのようなものを一つ一つ作っております。

「43 項」は、前回も示しておりますが、ストーリーを持って回っていただくことで、市民のエシカルなライフスタイルを実現していきたいと考えています。絵が小さいですが、一つ一つのイメージを記載しております。先ほど申しましたように、開催前、春開催、秋開催、レガシーとして作っております。

「等々力緑地・エリア (47 項以降)」につきましても同様に、作っております。今回初出しになりますが、例えば、この右側ウォーターガーデンと書いてある、釣り池の中に花筏み

たいなイメージを載せておりますし、左下、「全国にとどろけ！みんなの花畑」ということで、協働で設置する花壇のようなものを記載しております。

「生田緑地・エリア（53項以降）」につきましても、同様に地域との連携をした取り組みというものを進めてまいります。

「まちなかみどりスポット（59項以降）」ですが、現在、名前だけを書いているところで、まだ決められているものがないため、適切な名前についてご意見をいただきたいと思っております。

「出展展示（61項以降）」です。川崎の緑の歴史や、これからの緑を考えるきっかけになる展示をしていきたいというところと、壁面緑化に代表されるような都市緑化の技術の進歩を実感できるような展示を展開していきたいと思っております。

これまであまり細かいものを出しておりませんでした。例えば自治体出展花壇については富士見公園までの沿道に設置をしてまいりたいと思っております。

それから企業、団体等の出展コンテストにかかる展示につきしては、富士見公園を中心に秋ごろから順次募集をしていきます。

「都市を彩る私たちの緑」というテーマで、住いや仕事の空間、建物の壁など3つのタイプで募集をしていきたいと思っております。その他、造園団体等の連携といたしましては、神奈川県相原高校が事務局をしております全国造園デザインコンクールなどを展開していきたいと思っております。

続きまして「植物調達（63項以降）」です。これまでの川崎の植物など、市民に取り入れやすい植物を作っていきますということを示していますが、今回新しく追加したのは、市民協働による花苗育成で、二期開催にしっかり対応していきますということで秋開催用の花、春開催については春開催の花を用意していくところです。

それから、市場に影響をあまり与えないように安定的かつ計画的な植物調達をしていきます。そのため、「植物調達協議会」を組織致しまして、安定的・計画的に調達を致します。また、植え付けや管理につきましても市民協働を基本に、専門家の御意見をいただきながら行っていきたいと思っております。会期中の管理につきましてもしっかり点検をして調整をしていき、点検により今何が咲いているかなどについてもしっかり外に発信するというのも大事かと思っております。会期後につきましてはしっかり再利用を考えていきたいと思っております。

「行催事（65項以降）」ですが、いわゆる式典に該当するところです。こちらにつきましても、川崎の魅力を発信する機会でございますので、アトラクション等、川崎の魅力をしっかりと発信をしていきたいと思っております。緑化祭につきましては、別途「実行委員会」

を設置しまして内容を検討するものとなっております。既存のイベント等と連携をして一体感を示していきます。

「飲食物販 (73 項)」では、市内飲食店や生産者と連携をするのはもちろんのこと、容器など、SDGs を意識した取り組みを進めていきたいと思っております。緑を生活に取り入れる仕掛けや、やはり楽しく参加できるといったことをしっかり皆さんと作っていきたくて思っております。

エリアの商店街等にもしっかり誘導もしていきたいと思っており、公式ホームページなどとの誘導も含んでいます。物販や特産品、緑を生活に取り入れられるような、工作クラブのようなものなどを学校や福祉団体などと連携をして発信をするなど、展示物販等をしていきたいと考えております。

会場運営・管理 (75 項以降) では、これまでボランティアを取り入れてやっていくことを説明しておりました。今回、会場時間は 9 時半から 17 時と設定をしております。夜間イベントを行う際は別途調整をし、対応していく考えです。

会場には、案内所やボランティアセンター、車イスやベビーカーの貸出し、授乳室・救護室、情報センターを設置していきたいと思っておりますが、コア会場が 3 つあるので、総括運営本部を、富士見公園、特に教育文化会館を想定しております。

コア会場毎の本部については、富士見公園は「教育文化会館」、等々力緑地は「旧中部公園事務所」、生田緑地は「東口ビジターセンター」を想定しております。また、カルッツと等々力球場インフォメーションセンター、生田緑地のビジターセンターには総合案内場を設置いたします。

それから、駅から会場への適切な誘導が出来るように対応してまいります。土日や多くのお客様の来場が想定される日については別途対応をしていきたいと思っております。

会場内の巡回サービスをしっかり行い、さまざまな来場者に対応できるようにしていきたいと思っております。当たり前のことですが、関係法令を遵守して行っていくことや、環境負荷低減を運営全体でしていくことと、使用物品等はリサイクルを行うなど、しっかりと対応をしていきたいと考えております。

「交通輸送計画 (78 項以降)」では、これまでも申しました通り、公共交通機関の利用を前提としております。富士見公園や等々力緑地は既存の路線バスを前提に、生田緑地は別途グリーンスローモビリティのようなものを展開していきたいと思っております。

土日または逆日での等々力緑地や生田緑地会場につきましては、バスの増便等の対応をしていきたいと思っております。3 つの会場を一日で巡る輸送手段は準備しておりませんが、観光施策と連携をしながら輸送そのものをコンテンツとして展開していくことは考えていきたいと思っております。



基本的な事で、繰り返しになりますが、緑を感じて歩いて楽しむお勧めルートの設定をして、花や緑で視線を誘導してわかりやすい案内で会場に導いていくことを考えております。

以上、まだ概要版もできていなく、まだまだ整理が必要なところがございますが、現状の基本実施計画につきまして、ご説明をさせていただきました。

### 3. 第5回市制100周年幹事会資料（次第3、参考資料1）について

#### 福岡幹事長

ご説明をありがとうございました。続きまして、次第3の市制100周年記念事業について移らせていただきます。資料に基づいて事務局の方からご説明お願い致します。

#### 事務局（小池局長）

本日、初めてこのような会に参加させていただきます。

シティプロモーション推進室の担当部長をしております小池と申します。よろしく願いいたします。私は、市制100周年記念事業（以降、100周年）と全国都市緑化かわさきフェア（以降、緑化フェア）の合同実行委員会の事務局長を担わせていただいております。

本日は、今まで100周年の取り組み状況についてご説明する機会がなかったため、少しお時間を頂きまして、今の状況についてご説明をさせていただきます。ちょっと駆け足になりますが御覧いただければと思います。資料の方がかなり分厚い資料をつけており、追っていくのは大変なので、スクリーンの方でご説明させていただきます。スクリーンの方をご覧ください。

100周年では、幹事会を既に5回開催しており、二ヵ月ごと程度で開催しているところです。

今の進捗の状況としましては今度、8月29日に、もう一度の2つの合同の総会を開催させていただく予定で、それに向けて作業しているところですが、100周年はポスターにもございますように、「COLORS FUTURE! ACTION」ということで様々な主体がいろんなアクションを起こして100周年をみんなの祝として、みんなで行動を起こしていくコンセプトで進めており、実行委員会が主催する事業、また、川崎市が主催する事業など、今300を超える団体が実行委員会に入っています。参画団体に入っている方が「主催する事業」、それから入っていただかなくても、市民の皆様がいろんな形で関わっていただく「パートナー主催事業」というような、いくつかのカテゴリーに分けて、皆様にアクションを起こして頂けるきっかけを作っていきたいと考えています。「実行委員会主催事業」については、今いろんなプランを考えています。後ほどご説明いたしますが、8月の総会以降は、我々事務局の方で検討しているもの以外に「提案事業の募集」も行いながらいろいろな方が参加していただいて事業を起こすようなものを作っていきたいと考えています。

また、「市主催事業」については、既にいろんな形で動き始めているところもございます。

この「参画団体主催事業」、「パートナー主催事業」については、8月29日以降、様々な形で提案事業の募集、パートナー事業の募集のような形で進めていくと同時に機運醸成に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

「協賛金」については、秋以降に集めていくような進め方をしていきたいと考えています。

これから、少し内容についてご説明させていただきます。先ほど緑化フェア（資料2）の説明でもありましたように、いくつかの取り組みでの核となる事業を中心に、盛り上げていきたいと考えています。令和5年度については、99年周年と一年前ということもあり、また後ほどご説明いたしますが、「フェス&カンファレンス」と、100周年の柱となる取り組みを進めていき、それを中心に知ってもらうことにも重点に進めてまいります。

また、市制100周年記念式典を来年の7月1日に開催いたします。秋口になりますと、秋開催の「緑化フェア」、「フェス&カンファレンス」というものを来年の本番の時に言いながら、冬にかけては「緑化フェア」の春開催のものを中心に、これを取り組みの核としまして、先ほど申しました様々な主体がいろんなアクションを起こしていくというものをちりばめながら100周年を祝っていききたいと考えています。

それに向けて広報にもしっかりと力を入れていきたいと考えており、来年の1月からは一部実施ということで、春以降に主要5駅(川崎、小杉、溝の口、登戸、新百合)を中心に、集中していきます。こちらにつきましても、1年間同じものを出しても仕方がないので、4月からはこういったものが行われていきますよというものをやりつつ秋口にかけては緑化フェアが行われますよ、といったような形に、いろんなパターンを切り替えながら、秋に関してはしっかりと緑化フェアの広告をしていきたいと考えています。

また、民間の団体様ともいろいろと協力しながら進めたいと考えていまして、既に「アゼリア」には、大きな広告を出させていただいていることや、いろんなデジタルサイネージなどもらせていただいています。さらに、100周年の公式ウェブサイトもバージョンアップさせていただきました。

これから、いろんなアクションが行われていくといのをどんどんアップしながら皆様が検索して、皆様が参加しやすい、それによってアクションをやってみようかなというものが起こるような流れを作りたいと考えていますので、お時間があるときに少し覗いていただければと思います。

「100周年記念式典（18項以降）」です。来年の7月1日の午後になりますが、ミューザ川崎の方で開催いたします。来場者は1500名程度を考えており、内容としては、「多様性が可能性であることを体現する」みんなで作り上げるというようなことをコンセプトで、かなりの大人数を計画しているところで、合唱や音声オーケストラもやりながら、みんなで作り上げる記念式典と言うものと考えています。

「実行委員会の主催事業（22項以降）」についてご説明します。実行委員会の主催事業については、「市の事業」、「参画団体の事業」、「パートナーの事業」などを先導する取り組みとして、様々な主体を巻き込みながら、未来に向けた活力のある「あたらしい川崎」を生

みだすきっかけとなる事業として検討しています。こちらにつきましては事務局の方で提案するもの、また今後行っていく参画団体の方からの提案型の募集を含めて、これからどんどん広げていきたいと考えています。

今の事務局で考えているものがいくつかあり、先ほど申し上げた、「フェス&カンファレンス(33以降以降)」で、今年の11月5日~26日の開催を目指しています。この時期については、川崎市のいろんなところで既存のイベントが開催されており、市民祭りや新百合のマルシェなどと上手く連携しながら川崎市内でいろんな取り組みがあるというものを川崎市の皆様に知ってもらって楽しんでいただけるというような「フェスティバル」というものと、トークセッション、ワークショップ、ブース出展などを交えた「カンファレンス」というものを17日、18日で行いながら、川崎市の未来を考えていくセッションなどの取り組みを組み合わせたいと考えています。これを一つの100周年の柱としまして、令和5年度からプレ事業として実施したいと考えています。

また、「道路公共空間の活用」、「脱炭素」、「みどりの共創プロジェクト」などを一つ実行委員会の主催事業として取り組んでいくということを現在検討しており、これに加え、提案事業などを組み合わせながら多くの事業を生み出していきたいと考えています。

続いて、「参画団体の皆様、それからパートナーの皆様が主催する事業(67項以降)」です。実行委員会に参加している企業、団体等が自ら実施していただく事業、パートナー主催事業については、参画していない企業、団体、個人等が主体となって行っていただく事業など、秋以降ウェブサイトの登録フォームから登録を行っていただきながら、いろんな取り組みを生み出していきたいと考えています。

今は少しずつ生まれてきており、右側の写真(81項)が、先日行われた、川崎駅周辺でグリーンバードさんが清掃活動とを行っている団体と、川崎駅周辺のスターバックスコーヒーや富士通などが組みまして、参加していただいた方にスタバのコーヒーなどを振る舞っていただくとか、コラボしながらこのような取り組みが生まれています。

また、「PRの取り組み」としては、100周年マークなどを入れていただく取り組み(99項)などもできています。このように、コラボしながらのいい事業が、アクションが生まれていくことをこれから目指してまいります。

このような事業については、先ほど申しましたホームページにしっかり載せていって、広報をして、皆様に参加していただくような機運を高めていきます。

また、このような参加は、なかなか待っていても、生まれてこないところもあり、まずは実行委員参画団体の皆様に説明会や交流会のものを作りながら、皆さんのコラボするきっかけを作り、皆さんと一緒に盛り上げていけるよう、機運を高めてまいります。

今、いろいろな事業を生み出すきっかけを作っていく作業を行っていて、総会にもご紹介しながら、また秋以降に皆様から参加していただけるような取り組みを進めてまいります。簡単ですが、100周年事業の今の取組状況の説明については以上でございます。

## 意見交換等

### 福岡幹事長

ご説明をありがとうございました。

それでは、ここから「資料2」と、「参考資料1」に関して、説明がありましたが幹事の皆さまからご意見等を頂きたいと思います。ご意見がある方は挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。

### 栗原副幹事長

説明をありがとうございました。前に頂いた資料からだいぶ、イメージが進んできた感じがして、わかりやすくなってきて、いよいよ始まることを非常に感じました。

「協働推進」についてももう少し、聞きたいと思ったのは、実際に「資料2の25項と26項」のプレ栽培の取り組みをやられたとの話を受けて、700人の方を対象にやられたことで、具体的な話と、その手ごたえや今後に向けた課題、どのように広げていくのか、どう展開していくのかということと、既存のいろいろな市民の関わりをどう展開していくのか、などがあれば、まだちょっと期間的に結果というのは出てないと思われませんが、せっかく取り組みをされたので、少し、聞かせていただけたらと思います。

### 事務局（藤井課長）

ご質問をありがとうございます。

このプレ栽培に関しては、基本的には令和6年の緑化フェアの本番の際になるべく多くの方が関わっていただいて、いろいろな方が育てた花を会場に飾りたいというところを目指して、先ず小・中学校で試験的に行った状況です。

700人というのは、秋に咲く花の種の実験でやったもので、今後、秋向けのプラグライトの試験や、後は、春に咲く花の種などを段階的にやっていこうと思います。今は小・中学校とやっていますが、後は企業や保育園も7区1園ずつやっていく予定です。

手応えとしては、今皆さん苦勞しているのは、夏場の水やり、特に学校は夏休み入っており、色々お願いして家に持って帰ってもらっているパターンや、学校で引き続き、例えば土日の先生がいない時にサッカーをやっている人たちに水をまいてもらうなど、いろいろな仕組みでできないかをいろいろと試しています。

あと、保育園や学校に行くと、それを学校の中に終わらせるのではなくて地域の人と連携したことができないか？という意見をよくいただきます。

例えば、公園の愛護管理団体のようなところとくっ付けられないか、協会さんなどとコラボできないか？を模索している状態です。そういうことを踏まえて令和6年度に会場でお花を飾った後も引き続きその繋がりでもちの中で花を飾るような取り組みができないかを見すえながらやってみたいと思っております。

## 栗原副幹事長

ありがとうございます。結構手ごたえがあるんですね。

## 渡辺幹事

「市制 100 周年事業」がやはり一つ大きなターニングポイントになっており、そこに「緑化フェア」をもってくるという意味ですね。だから今、計画書が平行で出されている。これは幹事会も違うため、良いと思うのですが、一般の皆さんや、協賛の仕組みが細かくなっているけど、例えば協賛する時、参画する時、どちらに参画するのが基本的に問われる。

多分、個別では上位概念の「市制 100 周年事業」には、「独自の事業」や「式典」などがあり、それでよいと思うけど、「緑化フェア」でもあるので、よく連携していくところがあるじゃないですか。場所は同じなわけです。

はっきりと、それぞれ違う場所で、式典は別の場所で行うなど、「緑化フェア」は別ではないので、これはクロスしている、これは独立事業だということが、わかりやすく、特に市民の方、協賛社、それからメディアの方から、いろいろな質問が飛ぶことを思うと、ちょっと分かりにくいですね、とまらない様にしていただきたい。

それとこのデザインがやっぱり「川崎市のマーク」と「緑化フェアのマーク」と「市制記念のマーク」と 3 つになる。この辺のピジューリングもビジュアルにする時にポスターや広報物とかしっかりしておかないと 3 つ並列にただペタッとくっついているだけだとちょっとよくない。先程、私が申し上げたことを踏まえ、協賛を含めて、全体に関わる話だと思う。

「市制 100 周年事業」では、ボランティアを募るのか募らないのかその時もどちらのボランティアなのかなどがいっぱいあるじゃないですか？それから川崎市内にいろいろな商店街と、いろいろやった時に、どちらの協力のものを軸にしたいのかもありますよね。そういうことを一度スクリーニングというか整理が必要だなと。こちらについて、まずは整理をしていただきたいと思います。

## 事務局（石垣課長）

おっしゃる通り提示された側、市民の方、企業の方がいかにわかりやすく理解していただいて共感して頂けるかがポイントだと思っております。我々としてもそれなりに考えた計画でございましたけれども、分かりやすい見せ方というのが大事かなと思っております。今後募集をかけてまいりますので、そこに向けてしっかりと見せ方を整理したいと思います。

## 米川幹事

私の方から一部基本事項に追加ということで、想定来場者数について、先ほどご説明されました、全体で 160 万人という計画になります。会場ごとの想定来場者数がはっきりしないと記載されている通り、円滑な交通輸送のための準備はできないと思いますので、どこの会場の人数がどれぐらいかをきちんと想定をして、グリーンスローモビリティや低速の交通輸送手段のように低速（確か 20km/h 以下）の輸送手段を公道で走るとなると、例えば土日にマイカーが集中するなど、混雑するような道路では大渋滞が起きることが予想されます。例えば、専用レーンができるような、道路環境であればそういうふうに指定をいただいで、運用すればよいですが、生田緑地周辺は幅員が広くはないので一般車両と複走することになります。

渋滞関係も考慮して計画を立てなければいけないということになります。そのことについて、まず会場ごとの想定人数、そして具体的な増強、バスの増便などについてもこれから具体的に決めていくと思いますが、市民への影響や交通渋滞の影響などについて考えていただきたいと思います。以上です。

## 事務局（石垣課長）

計画自体には、載せていないですが、会場ごとの春と秋、土日、平日のシミュレーション結果になっております。富士見公園がメイン会場で 78 万人、その他等々力緑地と生田緑地は、同数の 34 万人で、計 146 万人になります。

秋開催が 86 万、春開催が 60 万人で、計画に基づいて交通輸送や、会場の運営などを設定して、これからもマニュアル等も整備していく、ベースとなる数値となっております。

先ほどのグリーンスローモビリティにつきましては、やはり渋滞等の問題等もあり、昨年度には実験を行っております。

今年度につきましても生田会場で実験をしております。駅から会場までの誘導と、生田緑地につきましては会場内の段差というか高低差がございますので、そちらのバリアフリー的な考え方として、誰もが自然に楽しんでいただけるような仕組みとしてのモビリティについても併せて検討しているところでございます。

## 深町幹事

二つあります。一つ目は、少し離れてしましますが、「飲食物販」のことで、沢山の飲食物販が会場に入り、皆さん飲食されることで、沢山のゴミが出ることに、ちょっと問題があると思います。例えば、フランスのマルシェなどでは、多くのお店が出店され、そこに行くとき皆さんは、容器を持っていくのが当たり前になっています。自分のバッグの中にタッパーなど蓋つき容器を持って行き、そこに食品を入れてもらって、うちに持って帰って食べたりしています。それが日本では、衛生上できるかどうかかわからないですが、緑化フェアで作られる容器などをもち、いろいろなところを回れる、若しくは自分で持ち込む。もし、いろいろ

ろなものを食べるのに飲食物が混ざると嫌だということであれば、1枚ライスペーパーをはさむなどで、食べながらいろいろなものを容器に入れられる。そうすると、少しでもごみを減らせる、自分で何か物を買うときに、何でもプラスチック容器に入れて、使い捨てるものでは、会が終わった後に大量のゴミが出ることになるのは違うことになりますので、そこも少し考えて頂きたいと思いました。

二つ目は、市民全参加型の緑化フェアということですが、今日ちょうど生田緑地の前からずっとここまで来させていただきましたが、生田緑地まで道路に面して一般的なお家になっています。例えば、この一軒一軒のお家がすべて参加していますということを表明するとしたらどのような方法があるのかを思いました。

お家の中で緑を育てます、もしくは牛乳パックにお花を植えています、というのももちろん全て参加型ですけど、通りに面して鉢植えが一つあって、それが全部同じもので、私も参加しています。私も参加しますというように、AさんBさん、Cさんも皆さん参加しているのがわかるようなものが一つあるとよいのではと思いました。

商店街の場合は、商店街があるところに、何か同じものが置いてあって、緑化フェア、あるいは100周年に参加していることが分かるものがあると良いと思います。一人一人が参加する全市民が、ここにいる皆さんがそれぞれのやり方で参加していただくというのは素晴らしいことだと思うし、是非参加して頂きたいですけども、その先に何かがあるか、若しくは自分が参加しているということを表明したいと、声をあげるとしたら、声ではなくて形であげるとしたら、どんなことがあるのかをちょっと考えてみました。是非皆さんも考えていただければと思います。

## 事務局（藤井課長）

ありがとうございます。

まず「飲食物販」については、今、ここに書いているのは本当に考え方でございますので、実際どのように、どのくらいの数なのかをこれから詰めていきますが、今いただいたような意見も踏まえて検討して参りたいと思います。飲食については、やはりエリアとして考えた時に本当に会場内にたくさん出すのが良いのか、少し商店街や地域も含めて楽しんでいたきたいというところがあるので、それを含めて考えていきたいと思っています。

あと地域レベルで、皆さんが参加しているよ、というのが分かるようにすることに、我々も考えていきたいと思っており、この計画ではお示しできていないのですが、例えば、本当に全市という単位ではなくて、区毎で何ができるのか、その先にもう少し地域単位でなにかできないかを、なるべくハードルが高くなく、参加できる仕組みについて、おっしゃる通り必要だと思っていますので、併せて考えさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。



## 矢澤幹事

「植物調達管理」で、具体的な品目別の数値（63 項、64 項）は、今月の総会を終えて出るということによろしいでしょうか。以前、今井幹事からもお話がありましたが、具体的な数量等が示されないと生産者への説明や一年前から種の関係もあり、普段からの市場出しや生産者の販売計画に影響がでかねないため、なるべく早めに報告をいただきたいです。そこからすぐに、市内の関係は調整したいと思いますが、毎月花の生産者と会議を開催することは難しいところもあることやシーズンに入りますと集まりにくいこともあり、そのようなところでの確認でした。

「物販」の関係で、73 項に、「アの SDGs の要素」を取り込んだ衛生面や環境面に配慮したサービスを提供します。とされており、SDGs の環境面で、右側の写真にも載っていますが、ちょうどシーズンの梨（多摩川の梨）の関係で、やはり持続可能な農業や都市農業、川崎農業を実現するにあたって、セレサでのサンプルとして、取り組んでいるものがあります。

毎年の管理作業の中で、冬場 12 月から 2 月ぐらいに剪定をします。切ったものを産業廃棄物で多い所だと、何十万円も支払って農業を維持している農家があります。そのようにゴミとして出している剪定枝を活用して植木鉢や燃やせるプラスチックなどがあり、そこにサンプルを頼んでいて、今月末、福田市長に見ていただくような形で計画をしています。

そちらが、実際に進むことが出来れば、このような全国規模の緑化フェアで川崎の農業は、川崎市内で循環しているということをアピールできると思いますので、備品関係や資材関係も含め来場者特典ではないが、ラリー的なもので条件を満たしたら配布を行うなどについて、ご検討頂きたいと思います。

## 事務局（藤井課長）

ありがとうございます。

一つ目の、「植物調達」につきましては、協議会を設立させていただいております。概算数字ぐらいはお示しているところもあると思いますが、そこは、今後どんどん熟度を高めていき、8 月 29 日の総会というの也有ありますが、その都度出せるものはお示しさせていただきたいと思っております。

二つ目については、今、JA で取り組みされているという話は、正に緑化フェアの主旨に合う部分だと思いますので、ぜひ一緒に会場で展開するとか、お知らせするとか、それについてもご相談させていただきながら、しっかり発信していきたいなと思います。

## 反町幹事

いくつかあります。

まずご説明をいろいろいただきまして、ありがとうございました。

夜の時間には、ナイトタイムエコノミーのご計画をいただいたようで、私は個人的に必ず必要だと思っていたので是非、企画を詰めていけたらいいと思います。ありがとうございます

す。必要だと思います。

いろいろと具体的に決まっている中で、まだ本番まで一年ぐらいあると思いますが、ちょうどこの夏と秋の時期には大きなイベントがどんどん開催されていく中で、やはり大がかりな大規模なことほど1年が終わって、割と早い段階で翌年に向けて、動き出すということになりますので、できるだけ主要な行事に対しては、このタイミングからきちんとコンタクトをとって、緑化フェアとして枠を抑えることや連携できるだけきちんと入り込んでいくというような関係性が作れた方がいいかと思いました。

緑化フェアであれば、直前でもおそらく連携関係は作れると思いますが、とってつけたようなものになるのか、きちんと企画の中に入り込んでできるかというところが違うかと思いました。

私は商店街の代表としても来ているということで、商店街関係で申し上げさせていただくと、先ほど、深町幹事からお話のあった、参加をしていますというところと何かPRになって一般のご家庭のレベルでということなのかと、いろいろな一般の方が、植物を仕入れられる一つの場所という中に、商店街やお花屋さんになるのかというところで、改めて商店街側の人間として見ても結構、全市の商店街の関係者の中でもお花さんが多いです。

会長やそれに準ずる方で、前向きな方で、ちょっと個性的な方も多いですけど、みんなのそういうお花への思いやプライドを持っている方なので、話を通せば、きっと協力してもらえるなというところで、商店街向けに緑化フェアとして公式に、お花屋さんとしても参加していますということを、緑化フェアを開催している時期に作るアレンジや花束などを緑化フェアスペシャルで、この時期は特に指定がなければこのお花を入れてあげてくださいなどといったルールか、ルールではなく可能な範囲でご協力くださいという設定をしたらご協力してもらえるのかと思いました。

それをうまく店頭などでPRするような形で市民の方にも今、川崎緑化フェアをやっている、この花をぜひ歩道側など見えるようなところに置いてくださいみたいな感じでやっていただくと参加しやすい状況が作れるのかと思いました。

最後に行祭事のところで言うと、これから主催の行事も連携の行事もいろいろ実施されていくというところで、商店街にも関係すると思うのですが、必ずしも商店街だけの話ではなくて、川崎にゆかりある、イベントに関わるお仕事をされている方とかいろいろな方がいらっしやると思うので、地元の会社にお仕事落ちて回るような仕組みは必ず必要だと思います。

私も本当に必要に応じて情報提供させていただくので例えば、このようなちょっとおしゃれな感じの演出するのであれば、あの会社かなとか、私の中で地元ゆかりがある川崎に思いのある団体やNPO、株式会社などを含めていろいろな事業者さんを巻き込んでいけたらいいかと思います。ありがとうございました。以上でございます。

## 事務局（藤井課長）

ありがとうございます。

イベントにつきましては、正に我々も、例えば、区民まつりのイベント等で、例えば生田緑地、等々力緑地ではこんなことをやっています、では来年どうしようかみたいな話は少しさせていただいています。大きな場所については、来年度に向けて少しずつ調整させていただいている状況です。

あと、花屋につきましては、前に反町幹事からも指摘されており、まさにその通りだと思います。まだ正式に商店街を通してはやっていないですが、会場近くのお店等にポスターを持ち、営業を行っているなど、多少は行っていますので、商店街を通じてまたお話させていただければと思います。

イベント連携、PRについてもこれからこの計画を持って力を入れてやっていかなければいけないという認識はしておりますのでこれからも引き続きよろしくお願い致します。

## 事務局（石垣課長）

最後の市内業者につきましては、当然そのようにしていきたいと思っています。植物調達のように、グループで参加できるのか、単体としてやっていくのかなど、いろいろな方法があると思いますが、やはりせっかく川崎市でやるのに川崎市の方々がやってよかったねと、言えるように、いろいろな方が言えるような参加の仕組みとして、事業者は事業としての参加という形もあるかと思っておりますので、引き続きやっていきたいと思っております。

## 栗原副幹事長

先ほど、矢澤幹事から材料の調達の話がありました。今、等々力緑地でボランティアの方と花壇づくりをやっています。その中で、来年の緑化フェアに向けて今できることは何があるのかについて話し合いをしています。

もう、一年しかないので、ボランティアの方に心づもりをしっかりとってもらいたいのと、実際どういうことがボランティアの方にできるのかを意見交換しながら、進めています。

その中で、大きく出ているのは、さっきの苗の調達の話で、学校を巻き込んだクラブ内でのことが話されたかと思いますが、実際に秋開催の時に、花をいつ植えるのかが決まっていないと材料調達や捕植の材料をどのように確保していくのかが非常に難しいのではないかと思います。

秋の開催となると、僕らがボランティアの方と話しをしているのは、夏（6月）ぐらいに植えたお花を11月ぐらいまで持たせられないかということです。当然、途中で枯れてしまうものや夏の暑い時期を乗り越えなければいけないとダメになってしまうものもあるので、それを秋に捕植したらどうかということです。

ご存知のことと思いますが、秋の時期はなかなか材料の調達というのは厳しいです。厳しい時期に、市民協働でどういった苗を市民の方に育ててもらうのがいいのかということもそ

ろそろ考えておいた方がいいのかと思います。

工事をするターゲットをいつに置くのかというのをある程度踏まえ、本作業と追加作業のような、仙台の場合も確か秋に植えて開催前の春に補植しているというやり方をしていると思うので、ある程度そのようなことを踏まえながら材料調達の数を考える必要があります。そういうのを抑えていくのが良いと思います。その中で、市民の方に比較的に取っ掛りやすい苗もあると思います。種まきの状態からできるものもあると思うので、いつお願いするのか、さっきの事務局の方からのお話もありましたが夏の花壇を秋まで持たせるというのは、口で言うのは簡単ですが、この夏場を乗り切るのはすごく大変なのです。さっきも水やりが大変だという話があったと思いますが、その辺をもう少し、具体的に整理のターゲットを含めて考えていき、ボランティアの方がどのような形で関わってもらうのかをある程度、形が決まってからではないとなかなか広報ができないと思いますが、少し小出しでもいいから何か心構えのようなものを作って頂き、みんなで作るんだよという意識を高めていくようなやり方をしないといけないです。

実際、蓋を開けて集まらないということもあるかもしれないですし、僕が今関わっているボランティアの方はやっぱり70台後半の方が主力になっているので、できること、できないこともあると思います。いろいろなボランティアの関わり方のメニューというのがあってそういう考え方で整備されていけばいいと思いますが、なるべく早く、心構えをしていただくものをしていった方が良くと思います。もしその辺で何かお考えがあれば教えてください。

### 事務局（藤井課長）

ありがとうございます。

先ほどブレ栽培の話をさせていただいたのですが、併せて、試験栽培という形で川崎市緑化センターと農業技術支援センターで、試験をやらせていただいています。おっしゃる通りだと思います。緑化フェアの時期は決まっていますので、そこに何をされるかをしっかりと実験等も踏まえて、早めに整理しようと思っています。

併せて、協議会の設立をさせていただいて、その中でどういうものがあるかをお話させていただきながら進めさせていただければと思います。

また、地元には今、各区役所などから、地元の講演で活動されている方とお付き合いがあったりしていますので、そういうところも通して緑化フェアに向けての協力ということもありますので、そこも時間がなくなっているところがありますので力を入れていきたいと思っています。

### 萩原幹事

大分スキームが出来てきていて、写真もいろいろなものが出てきてイメージが付きやすくなってきましたし、等々力緑地でもウォーターガーデンが出てくると、なるほどと思いま

すので、そのようなことが一般の人にも伝わり始めると期待が高まるのではないかと思います。

度々申し上げていることですが、やはりエントリーの仕方について教えていただきたいと思います。いろいろなエントリーの仕方があると思いますが、100周年の記念事業の話が出てきたりすると一般の個人や家庭、お店などが一体どこで何をすればいいのかというのがちょっとわからないと思います。中田原で言いますと、去年11月にパンジーの花を対応させていただきまして（今年の11月に行う）、中原区役所地域振興課の方で、全国都市緑化フェアのイメージのプレートみたいのを作っている時に、あれは私の方で作ったもので、こういうイメージで刺していただくことを知りました。

各緑道や各団体のところで、何か統一されたプレートのようなものができると、エントリーの仕方が家庭でもいいのかどうかというハードルを下げさせていただくと、多分、すごく広がると思います。

私のホテルとホテル内のレストランや飲食店をイメージしていたのですが、それを全国都市緑化フェアで行えば、お野菜だったり果物だったり、スイーツだったりサラダだったりデザートだったり、パスタだったりそういうものを料理に活かすというメニューでの協賛というのもいいと思ったのですが、それだけではなくて、例えば、緑で店内を飾る、レジの周辺を飾るなど、そういうものが刺さっていて、川崎市のまち中でそれをやっているよというのがすごくいいのではないかと思うのです。

そうすると、ご利用したお客さんがそうなんだそうなんだ、あっちでもやっていたね、このお店でもやっているんだみたいな、その盛り上がりをぜひ作りたいと、特にそういうお店だったりすれば、デジタルマップなどでこの辺だったら、このお店がエントリーしているみたいな、そういうのが素晴らしくて良いなと思います。

ちょっと総会シーズンは終わってしまったので、私は11月ぐらいにホテルや飲食店を集めた勉強会を開催しようと思っているので、そこでちょっとお話をしていきたいので、ぜひそれまでにはどんな感じでエントリーしていったらいいかを作っていただけたらすごくありがたいと思います。

そうすると皆さん、何かすごいプロジェクトだけが動いていて、他の人は何をやっていいかわからないねとか、それからこの道具使うだけでもすごく申し込みが大変みたいとか、ロゴマークとロゴマークとの間が何センチを空けるかとか、いろいろな決まりがあったりすると、わからないねとなりやすい。ぜひその辺ちょっとハードル下げたエントリーの仕方を作っていただくとありがたいです。以上です。

### 事務局（石垣課長）

まさに花壇に刺す札みたいなものは今年度できれば10月か11月ぐらいから全市に展開していきたいと準備をしているところでございます。中原区の花壇には、かなり色々刺さっていると思いますが、あのようなものを展開していきたいと思っております。

生田緑地の沿道にお住まいの方々を市民総参加というようなところで歌っているところでございますが、おっしゃる通り、やっていればそれで参加ですけど、我々がどうやって把握したらいいのかなども当然あると思いますので、そのような中で、私はやっていますなどを示す、宣言のようなものを受け付ける仕組みというのは、必要なかと思っております。

もともと川崎市環境局の方でも環境について、例えば、マイ箸を持参しますとか、最近はそのようなのがブームになっているので、やっていないですが、個人個人でわたしの環境宣言のようなものを登録するフォームを実は昔からやっておりますので、もしかするとこの緑化フェアのホームページ内にそういうのを作り、宣言をしていただいて、例えば飲食店だったらここで私はこういうことで緑化フェアに参加していますみたいなことを個人や店ごとに展開していくという仕組みが必要だと思っておりますので、引き続きどのようなやり方ができるかということを検討したいと思っております。

あと、今メインの川崎駅、小杉駅、新百合ヶ丘駅の比較的大きな店舗ショッピングセンターといわれるようなデパート系の店舗の集まりがございますので、そこで例えば、緑化をしていただくとか、メニュー展開の中で、飲食店の中でエディブルフラワーですとか、川崎育ちを使ってもらうとか、そういった展開ができないかなど、お話し合いを徐々にさせていただいておりますので、先ほどのホテルの集まりなどにおいても、このようなことができるのではないですかみたいなメニュー設定のようなものはぜひお示しさせていただいて、せっかくやっているのであれば、我々としても発信をしていくといったことが大事かと思っております。引き続き検討させていただきます。

## 事務局（藤井課長）

補足になりますが、100周年の事業でこれからの参画団体や個人の方を対象に様々な募集をかけていく、資料でいうと「参考資料1の81項」になります。

ここが、実行委員会に入っている企業や、パートナー（個人の方）に100周年で何かこういうことができるよということに手を挙げていただくようなことを想定しています。この中に当然、うちの店ならこれから出来るとか、そういうものがたくさん上がってくるだろうと想定しております。

今、100周年と緑化フェアの関係が繋がっているのですよというのをお示しがきちんとできていないですけども、募集をこの緑化フェアで拾っていくというのが仕組みとしては必要かと思っております。

先ほど、緑化フェアの方で協賛連携会場を「まちなかみどりスポット」と軽い名前に変えたいというところの意図もこのことと同じであって、そうやって地域全体で緑化フェアを盛り上げ、地域内でこんなことができるよというのを協賛連携会場で募集することになるのかなとハードルが高そうですが、その「まちなかのみどりスポット」をしていきますよと言うと、うちの店でもそんなことができるとか、うちの町会だからできるとか、そこが是非繋がる形でお示しできれば地域全体でまさに萩原幹事がおっしゃったようなところを我々もイメージ

しております。みんなで緑化フェアを盛り上げていくという分かりやすい構成の仕方として、もう少し整理していきたいということでございます。

## 大西幹事

本日はありがとうございました。分かりやすいご説明で、今までより二段三段と理解が深まって具体的に絵が見えてきたので、ご説明を伺っていて非常に面白く、わくわくするような緑化フェアになっていくのではと思いました。深まって具体的に絵が見えてきたので、非常に面白くわくわくするようなフェアになると思いながら説明をうかがっていました。

幹事の皆さんのご指摘のところも非常になるほどと思うのと、そういう観点があるのかというご意見もたくさんあり、私自身にとっても勉強になったと思っております。

広報の観点で言いますと、今回は論点ということでは挙げられておりませんでした。特に、先ほどお話に出た「まちなかのみどりスポット」として名称を変える件は非常にいいと思いました。変更前の呼び方は何だったかな？と思ってしまうくらい新名称はストレートで分かりやすくしっくりとくるものでした。市民にとっても分かりやすさは大事でしょうし、参画していただくためにもイメージのしやすさは重要だと思います。名称に（仮）が付いていましたがこのように分かりやすく開けたキーワードで持つて行くのはいいと思いました。

「まちなかのみどりスポット」として名称を変えるということで、非常にいいと思いました。変更前の呼び方は何だったかなというぐらいしっくりとくるものでしたし、市民の方も分かりやすく、割と参画しやすくてまちなかにあり、そこでということね、というふうにイメージがしやすいと思いました。これが（仮）ということであったと思いますが、このように分かりやすく開けたキーワードで持つて行くのはいいと思いました。

「資料2の21項」の基本のコンセプトのところですが、いろいろと具体的に落ちていった中で、改めてコンセプト見返してみた時に、緑のムーブメントを起こしたいという記述があります。具体的には、各会場での取り組みとなっていくと思いますが、割といろいろな展示がありますが、参画する市民の方にとって受け身でそのイベントに参加するという形が、現時点ではちょっと多いかと感じています。能動的なもの、参加型の企画などバランスよく考えていただきたいです。

緑のムーブメントを起こしたいということで、これがコンセプトになってその中から基本方針があり、具体的に各会場での取り組みとなっていくと思いますが、割といろいろな物の展示があるなど、イベントが開催されるという中で、参画する市民の方が受け身でそのイベントに参加するという形が今のところちょっと多いかと感じています。

ボランティアの方や協力団体の皆さんとかが、何かを作ったり、参画されるというケースの場合は、また別だと思いますが、フェアとイベントがある、それに行こうという方々も当然先ほどの人数の数千人という規模の中に含まれていると思うのですが、人の動きや数字

などにおいてもトピックスが生まれ、ムーブメントが起きたということを各メディアは期待するところもあると思います。例えば、「ボランティア参加が過去最大の人数になった」や、「参画団体が何千企業である」など、何か他と違う状況、状態が起こる、つまりムーブメントを起こす、ということも重要な観点かと思っています。数字的なものなどに一つ目標を置く、など考えていただけるといいと思います。

人間関係においてもムーブメントが起きたということを、非常にメディアとしても期待しているところです。例えば、ボランティアが過去最大の人数になった、参画団体が何千企業であるなど、何かが起こるムーブメントが期待されており、数字的なものなどに一つ目標として絞って、これをモーメントにしてムーブを起こすと言うようなことを考えていただけるといいと思います。

一つじゃなくても、二つ、三つなのかわかりませんが、先ほどの深町幹事のおっしゃったような、ドギーバッグや容器を持っていこうというアクションや、自分の箸を持ち歩くなどアイデアは色々あると思いますが、緑化フェアに参加する人たちがみんなそれぞれ何か一つ同じものを持って会場に集まる、なんていう絵面もユニークです容器を持っていこうとか、箸を持って行くなど、何か参加する人たちがみんなそれぞれ何か一つ同じようなものを持って会場に集まる絵面も、メディアとしては観てみたいと思います。それが何であるのかというのは今すぐにはアイデアとして出ませんが、例えば薔薇やがあります、向日葵畑があります、すすきのすごく壮大な自然の光景、が見えますということとはそれとは、また全然違う、市民がこれから生きていくなかでの延長線上にあるような、生活につながるような、ウェルビーイングな何かアクションが起こせる、アクションに繋がってくると非常に面白いと思ったので、是非そのキーワードが何かということも考えていただけると良いかなと思います。市民の生きていく上での生活につながる、もしかしたら自分たちの楽しく生きていくウェルビーイングのようなどころの一つに、何かアクションが起こせるようなものが繋がってくると非常に面白いと思ったので、是非そのキーワードが何かを考えて頂いて、それを元に、もしかしたらこのメディアも非常に面白く、注目してくれるのではないかと感じておりますので、考えていただけるとありがたいです。

それから、PRの戦略の部分はこれからだと思いますが、いろいろなイベントがあるものをどのようにPRして、広報していくのかを、プロモーションの戦略としてどのように広げていくかということは課題です。ところを、反町幹事もいろいろとお感じになっているように、非常にイベントが乱立している状況で、そしてそれぞれが大変面白いイベントが川崎の街のまちの中にもたくさん存在しています。あるので、どのお祭りやイベントもが昨日と何が違うかというぐらい本当にどれもこれも面白く、またすごく近いエリア、地域とところでたくさんイベントが行なわれています。ので、その中でも一つ100周年、また違うものだというのと、それと緑化フェアはまたさらに先ほど渡辺幹事がおっしゃっていましたが何か繋がりがあってもまた違うイベントであり、やる意義があるのだということをわかりやすく伝えていく必要が、メディアとしてもあると思いました。次のフェーズのページにな



と思いますが、フェアの戦略を作っていく中で必要だと思いました。

最後にもう一つ「資料2の21項」の基本方針では、先端技術で新たな都市緑化を作っていくことを最初の幹事会でもあったと思います。今回の資料の中で、IT技術や先端技術を使うことはどの部分なのかが分からなかったのも、そのあたりを教えていただきたいです。お願い致します。

### 事務局（木村次長）

忘れないように新しいものから言わせていただきます。

先端技術につきましては、例えば、富士見公園で、壁面緑化の新しい技術の進歩を展開していくことを記載させていただいております。

IT技術等につきましては、これまでVRの活用やバーチャル会場のようなことですが、確かに1歩後退しているかたちでございます。

オープンデータの活用や三つの会場が離れておりますので、そこをどうつなげていくかを、デジタル技術の活用で、していくところでございます。

広報につきましては、取り組みを広報するという大前提大原則がございますので色々なところで、いろいろなことが行われていることを広報していくということになります。

広報のターゲットとアプローチにつきましても、これまで緑にかかっている方だけではなく、今まで緑に関心すらなかった方々も、いろいろなイベントにいらっしゃっていると思いますので、何かをきっかけに、何かがフックになって、自分の生活に緑を取り入れる、緑化フェアが少しでも気になってもらえるような展開をしていきたいと思っております。

Green For Allの緑のムーブメントというところでございますが、今回改めて5つのレガシーというところを書いてあります。これがムーブメントとして残っていくものかと思っております。市民のライフスタイルの変化や生活が変わることによって街そのものが変わっていくとか、緑化フェアをやったという記憶が子供たちに残っていくとか、そこで新たに生まれた出会いなどで、活動が生まれ、その活動が継続していくことが基本的にはムーブメントというところかなと思っております。少しワーディングのセンスが必要かと思いますが、そのようなことを目指して、行なっていくものでございます。

### 福岡幹事長

ありがとうございました。そろそろ時間になりますが、私からもいくつか発言したいと思います。

一つ目は、先程の大西幹事のご発言に続いて、同じ内容です。レガシーのライフスタイルの変化というところで、デジタル活用で言うと、VRや仮想空間の中のことではなくて、例えば、市民が自分たちの取り組んでいる内容を登録できるようにするとか、デジタルマップのような話が萩原幹事からもありましたが、手を挙げていただくというか、自分で手を挙げ、私はこれやりますというふうにならないと、市からお願いして苗を配って、これでやってく

ださいというの必要ですが、これだったら私やりたい、これだったらこういう風に関わりたいというのを引き出すためにデジタルのツールが使えないかと思っています。

多分、すごくたくさんさんのプログラムやイベントなど、小さい行事が起きていくことを追っていくのは大変だと思いますので、できるだけ早くそういう社会的な交流も含めて、デジタル上で、情報を簡単に登録する。交流も同じで、それを見える化をすればいいのではないかと思います。そうすると例えば、牛乳パック1個、花を置いているのが登録できるのかというところもあるのですが、その辺りも含めて公開がOK だったらそれを見ていただくオープンガーデンもありますし、ということもあるというふうに思いました。

二つ目は会場に関して、三つ目はまちに関しての内容になります。

お示しいただいた会場計画の具体的な整備の内容というのは、まだ次回のことなのかと受け取りました。絵としては見えてきているのですが、例えば、「資料2の44項」の富士見公園の平面図を見ていただきますと、左側の下に凡例が出ていまして、花の装飾とイベントスペースというのをされていて、この四つのエリアでだいたいこんなことをするのだろうというのはイメージができますが、等々力緑地、生田緑地、それからこの富士見公園3会場はそれぞれ整備の段階も違います。例えば、その公園が持っている、すでにあるハードを活かして何かをするとか、何か物を置いていくような計画になっているので、今、公園がある課題は整備されてしまいますけど、将来につなげる上でも、こういうところが緑化フェアを通じて変えていきたいとか、あと生田緑地の場合はまたちょっと異なると思いますけども、等々力緑地の場合は、これから整備ですので、それが生きていくような、線と面だけじゃなくて、もう少し公園のハード自体からこの会場の計画というのが見える化できるといいと思いました。

このまちの方の連携会場です。エリア全体でやっていくという方が「資料2の41項と42項」です。「42項」ですと市役所通りの公共空間の利活用ということが書いてあります。この開催前のところに川崎市が日常的に抱えている課題、例えば、自転車の交通量や歩行者の居心地、暑さ、歩きやすさなど、いろいろな諸課題があるのではないかと、ウォークアブル推進都市ということも、もしかしたら川崎市で手を挙げているかもしれませんが、この開催前のところに諸課題があって、この緑化フェアでこういう公共空間を活用することで少し変化を見ることができると、そうすると例えば担当部署だけではなくて他の部署を巻き込んでその緑化フェアに参加することで効果を感じることができる、検証することができるということは使えるのではないかと思います。

そうすると、レガシーとは、ウォークアブルなまちづくりを事業者が主体で実施するきっかけということだけではなくて、もう少し具体的な空間上のレガシーと、それからソフトなどのプログラム上のレガシーがあるのではないかと思います。ここだけじゃなくて、二ヶ領用水でも同じようなことが、生田緑地も例えば、生き物の数がたぶん減っているというのも昨日生田高校の高校生がオープンキャンパスに来て話していて、あ、そうだなと思いました。

それぞれの会場が持っている課題、周辺のまちが持っている課題がたくさんあると思うので、それに絡めて提示してあげて、またそれを緑化フェアの期間だけに花を置いて綺麗に演出してその時だけ暫定的に利用するのではなく、それを次につなげていく仕組みを作るとあげると、参加しやすいと思いました。

そういう時にパワーを貸してくれるような組織として、エリマネ団体に行ったり、区役所の話はさっき少しありましたけど本当に組織を巻き込んでいくかというところで、もう少しまちづくり系の団体や区役所などももう少し組織的に動けるところも繋げていくということで、商店街の話もありましたけど大事なのではないかと思います。その辺のレガシーをもっと少し具体的にハードとソフトに分けて考えることが大事なのではないかと思います。私からは以上になります。

### 事務局（木村次長）

ありがとうございました。最後の話は正にその通りだと思いました。ありがとうございました。

この計画を作るにあたって、やはりどうしても最近流行りのバックキャストイング手法で作っております。将来像を設定してそこから逆算して作っていくという形でございます。ただ、計画はやはり課題をどう解決していくかというもので、この緑化フェアを位置づけていかなければいけないと思いますので、フォアキャストイング手法として、今の課題があって、これをこの緑化フェアでこう解決していく、こういう将来像がある、その両方の視点を大事にしていかなければいけないことを改めて思いました。

それから小さな話では、先ほどVR活用がございましたが、仙台の緑化フェアに出展を川崎市としてさせていただいたのですが、その中で川崎の風景を撮った映像をGoogleで没入感を持って見るのもって行きました。

それを川崎駅の周辺のイベントでも行いましたが、やはり川崎駅に来る子供たちは、北部には行かない方がいらっちゃって、生田緑地の上空を飛ぶ映像を見て、皆さんびっくりしていました。やはり先進技術というものを活用してやっていきたいと思っています。そういう小さなことはやっていますが、なかなか全部お示しすることができなかつたので言うただけだと、提示することもできますので、色々これからも、引き続きご意見をいただければと思います。ありがとうございます。

### 3 閉会

#### 福岡幹事長

それでは、時間も少し過ぎてしまいましたが、これだけはぜひ行っておきたいと、もし幹事の方がございましたらよろしいでしょうか。

それでは、短い時間でありましたが幹事の皆様、それから事務局の皆様にはご説明いただき、それからご意見いただきありがとうございます。本日皆様からいただいたご意見を踏まえて基本実施計画に向けて事務局の方で、これから各事業計画の取りまとめの方、よろしくお願いたします。それでは、進行の方を事務局に戻します。よろしくお願いたします。

#### 事務局（木村次長）

事務局の木村でございます。今日は、皆様ありがとうございます。特に福岡幹事長ありがとうございます。

只今いろいろと、幹事の皆さまから頂いたご意見を踏まえて、これから基本実施計画を固めてまいりますけども、その骨格部分だけでなく本日頂いたところの中で言うと、細かいところも含めて色々と動き出して参ります。例えば、大西幹事からありました、もう少し数字で見えるようにというところで分かりやすい切りだしのようなものをそろそろお示していかなければいけないと感じたところであります。

そのようなところも含めて、引き続きいろいろとアドバイスいただければと思います。他に事務局のほうから特にはないかと思いますが、皆さまからこの場を使って今日の話題以外に何かありましたらお伺いしたいです。

#### 渡辺幹事

160万人動員の目標の振り分け、特に無関心層をどのぐらいまで持ってきたのか、結果は別ですが、結果で仙台超えたとか、そういうことではなく、あるいはマーケティング人口が多いのでこのくらいになったなど、目論見みのようなことを少しお示し頂いた方が、やはり関心層は関心層で来ますよね。無関心層をどのぐらいにするのか、それがちょっと気になりました。

それと、さっき難しいとおっしゃっていたけど、参画する団体とか、個々人をどのぐらいを目標にしたいのか、その上でその内訳に商店街の力を借りるとか、コミュニティの力を借りとかあるのではないのでしょうか、そういう算用は少しご提示頂きたいと思いました。

あと、当たり前だけど関心層の話で園芸誌、業界誌など、当然そういうことは過去には皆さま緑化フェアやっているけど、その部分についてやはりきちんとした固定的に見込まれる一つの層がありますよね、プラスアルファの目論見をちょっと示していただきたいと思えます。

それと、深町幹事が言ったような、食材に対してのエコバックのような、やはりグリーン

だから、すべてに関わっていかなきゃいけないわけですよ。運営上の配慮もそうだし、すべて素材、ある部分だけ特化してはいるのではないので、やはりベースがそのグリーンというのはそこにありますので。

そこにどのように、川崎からの配慮とそこを狙っているかという、もう一回きちんと力を入れてみてそれで、「Green For All」という形を目指していただきたいと思いました。また、ご検討ください。

### **事務局（木村次長）**

ありがとうございました。

そうですね。色々な、目論見というところももう少し整理してお示してまいりますし、トータルでの、もちろん SDGs ということで計画の中にも組み込んでいきますけど、しっかりとその辺はパスしなりがちなので、気を付けたいと思います。

ありがとうございました。

他によろしければそろそろ閉じさせていただきたいと思います。

それでは以上を持ちまして、第4回緑化フェア幹事会を終了します。本日頂いた、ご意見を踏まえて内容を精査し、8月29日開催予定をしております、第3の実行委員会の総会において、新規承認を頂く方向で進めてまいります。

9月以降、基本実施計画に基づきまして、会場設計や、ボランティア募集、個別の具体的な準備などを同時並行で進めてまいります。開催まで約一年となりますので、市民企業団体の方々をどう巻き込むかといったようなところも工夫しながら、開催に向けた具体的な準備を進めていきたいと思っておりますので、引き続きアドバイスを頂ければと思っております。どうぞよろしくお願ひします。今日は長時間にわたりましてありがとうございました。